

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム めぐみ

作成日: 平成 25 年 03 月 31日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	非常時には、予期せぬ事態が起こることを設定し、近隣住民の協力体制の確保と、職場に近い職員との連携体制を強化していく。	当地(藤ヶ丘団地地区自治会及び、町内会総会や組長部会での参加(組長を担当)での災害時の協力要請や、スプリンクラー設置・防災訓練の慣習化を促進を実施・緊急時の連絡網による訓練等を実施・消防局の指導を得ている(地区防災訓練参加)等	12ヶ月
2	57	環境整備の充実を目指す	民家改造型の住宅で、家庭的であるが、少しずつ建物内の老朽化した部分の見直しを図っていく。	ハード面では、居室の老朽が見られる部分の改装(結露による居室やトイレの壁面の改装)や格納所謂倉庫の設置をして行き、過ごしやすい環境づくりを目指します。	12ヶ月
3	15	職員を育てる仕組み	次世代の職員の育成とリーダーの育成を目指す。	リーダー(管理者)研修会や認知症実務者研修への参加を促し、次世代のリーダー人材育成を重点とすると共にややもすると介護のマネリズムの脱却も必要かと思われますので、法令や現在迄の各マニュアル等の具体的な事項の事項の見直し等にも反映することを目標とします。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。